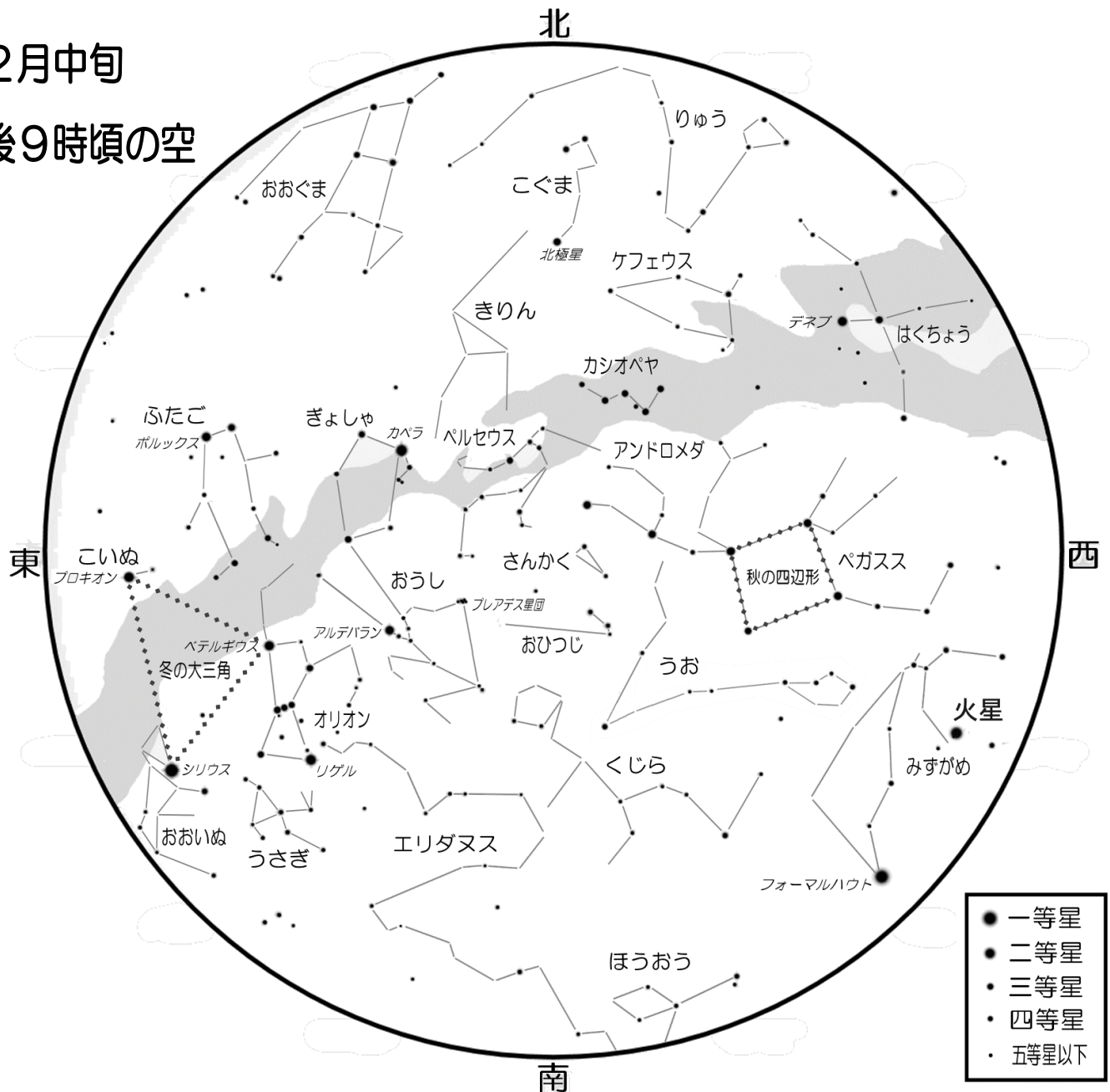


# 阿南市科学センター 12月の星空案内

12月中旬

午後9時頃の空



いよいよ本格的な冬に入りました。そんな季節の移り変わりとともに、夜空を飾る星々も徐々に秋の星空から冬の星空に様変わりをしています。良く「冬の星はきれいに見える。」と言われるのですが、これは、寒いことが大きな原因となっています。気温が低いと空気中に含まれる水蒸気の量が少なくなり、その結果、星の輝きが鮮やかに感じられるのです。それに加え、冬は一等星が多いのも星がきれいに見える原因のひとつです。徳島から見られる一等星は年間を通じて全部で16個ですが、そのうち8個が冬の時期に見えるのです。

天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600

# 12月の月と惑星

月の満ち欠け

月の形	●上弦の月	○満月	●下弦の月	●新月
見える日	7日	14日	21日	29日

惑星

	水星 ●	金星 ●	火星 ●	木星 ●	土星 ●
上旬	日没時、西の超低空に見える	夕方、西の空に見える	夕方、南西～西の空に見える	明け方、南東～南の空に見える	太陽に近く観察は難しい
中旬	(-0.5 → -0.6 等級)	(-4.2 → -4.3 等級)	(0.7 → 0.8 等級)	(-1.8 → -1.9 等級)	
下旬	太陽に近く観察は難しい				

## 天文館夜間天体観望会 12月の見もの

### ○ おうし座の散開星団 すばる (M45 プレアデス星団)

12月の午後8時頃、東の空を眺めると、星がゴチャゴチャと集まったところを見つけることができます。これは、星がたくさん集まってできた「星団」と呼ばれるもので、特にこの星団は肉眼でも見えることから、日本でも昔から「すばる」の名前で親しまれてきました。一般的には、「M45」とか「プレアデス星団」と呼ばれており、冬を代表する有名な天体です。

肉眼でも確認できるほど大きな天体ですので、天体望遠鏡で観察する場合、倍率は抑え目にご覧下さい。高い倍率で観察すると、星団全体の様子が見えなくなり、かえって美しさも半減してしまいます。具体的には20倍～50倍程度で見るのが最も適しており、これくらいの倍率ですと、周りの星の広がりもわかりますので、最も美しく見る事ができるのです。

科学センターで行われる12月の天体観望会は、この「すばる」をはじめ冬の代表的な天体を中心に観察していきます。



## 今月の天文現象

### 12月13日(火)～14日(水)ふたご座流星群

毎年、安定して流れ星を発生させる「ふたご座流星群」が13日の夜から14日の明け方にかけてピークを迎えます。この流星群は1月のりゅう座流星群、8月のペルセウス座流星群と並んで、3大流星群のひとつとして有名で、夜空の暗いところでは、1時間あたり50個程度、夜空の明るい街中でも1時間あたり数個の流れ星を見ることができます。また、夕方から翌朝にかけてほぼ一晩中楽しめるのもこの流星群の特徴です。

しかしながら、今年はちょうどピークにあたる14日は満月にあたり、流星観測には最悪の条件と言えます。また、時間的にも14日午前9時ごろと昼間の時間帯になりますので、ダブルで最悪と言っても過言ではないでしょう。

それでも、この流星群は月明かりに負けないくらいの明るい流れ星を見せてくれることがあります。特に流れ星をまだ見たことが無い方は良いチャンスとも言えますので、条件が最悪だからと言ってあきらめずに夜空を眺めてみて下さい。また、流れ星はいつ、どこで流れるかわかりませんので、午後10時ごろなら、図のような東の空、真夜中近くなら頭の真上よりやや東側にある「放射点」というところを中心にできるだけ広い範囲を見るようにしましょう。



12月13日 午後10時ごろの空

天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600